

## 検証：介護保険制度 1 年

— 連合総研「介護サービス実態調査」から見えてきたもの —

### 「介護サービス実態調査研究委員会」(\* 主査)

\* 堀越 栄子 (日本女子大学助教授)      牛山久仁彦 (明治大学助教授)  
 井出 久章 (労働調査協議会事務局長)      飛田 博史 (地方自治総合研究所研究員)  
 高橋 信幸 (長崎国際大学教授)      野村 知子 (桜美林大学助教授)  
 斉藤 弥生 (大阪大学助教授)      安岡 厚子 (サポートハウス年輪・理事) ほか

連合総研は、介護保険制度導入後、約 1 年を迎えた段階における制度の検証を含めて介護サービスの実態調査を企画し、今後の制度改革に向けた政策提言を行うために、2000年7月、「介護サービス実態調査研究委員会」(堀越栄子主査)を発足させた。

本調査の主たるねらいは、調査の概要の意図と目的で述べているように、介護サービスにおける職の確立と介護者側からの実態の把握にあり、そのため、①ホームヘルプサービス職に関するアンケート調査、②ケアマネジャー職に関するアンケート調査、③要介護高齢者についての実態調査の3つのアンケート調査を2001年3月～4月にかけて実施した。

本報告書は、これら3つのアンケート調査の分析とそれを踏まえての総論から構成されている。また、各章の調査項目のおわりには、適宜「要約」としてまとめ、内容のポイント、問題点の指摘をおこなって、便宜を図っている。

### 目次

総論 調査の全体像と介護サービス改革の課題

第1章 調査の全体像      第2章 介護サービスの担い手 —現状と課題—  
 第3章 介護保険下の在宅介護者      第4章 行政の課題  
 第5章 提 言

第1部 ホームヘルプサービス職に関するアンケート調査結果

序章 調査対象者の構成      第1章 ホームヘルパーのキャリアー  
 第2章 ホームヘルパーの仕事意識      第3章 ホームヘルパーの仕事実態  
 第4章 介護保険施行のホームヘルパーへの影響      第5章 就労の実態と労働条件

第2部 ケアマネジャー職に関するアンケート調査結果

第1章 単純集計結果に基づく個別項目の評価  
 第2章 クロス集計による主要項目の評価

第3部 要介護高齢者についての実態調査結果

第1章 要介護者と介護者の状況      第2章 家族介護者と要介護認定  
 第3章 家族介護者とケアプラン      第4章 介護サービスと家族介護者  
 第5章 在宅における家族介護者の状況      第6章 行政への要望・介護保険に対する評価  
 第7章 「憎しみ」を生む要因は何か? —憎しみを感じている介護者の分析—